

前立腺癌手術における抗菌剤投与と感染症に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2023 年 9 月 13 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 ロボット支援下前立腺全摘除術(RARP)の周術期抗菌薬投与方法と術後感染症発生に関する後ろ向き研究

〔研究目的〕 帝京大学医学部附属病院泌尿器科では、泌尿器疾患の原因を明らかにし、正しく診断し、より有効な治療法を開発することを目標として、さまざまな研究を行っています。このような研究活動の基礎になるのが、実際に当科を受診された患者さんの診療録(カルテ)の情報です。患者さんの診療録に記録されている各種の臨床情報、検査結果、治療内容と経過などの医学情報は、病気の解明のために大変貴重なものです。そこで、当科では、過去に泌尿器科を受診された患者さんを対象として、診療録に記録されている情報を解析し、患者さんの診療に役立つ情報を取得し、医学の発展に貢献したいと考えています。

〔研究意義〕 ロボット支援下前立腺全摘除術(RARP)は、前立腺癌に対して広く行われている手術です。手術では、創部などに感染が起こることがあり、その予防のために抗菌剤を使用します。しかしながら、RARP において使用する抗菌剤の種類や投与日数については、明確な取り決めがないのが実情です。この研究では、国内の複数の施設の症例を調査し、手術後の抗菌剤使用と感染症発症の実態調査を行います。手術時の適切な抗菌剤使用に関する重要な知見が得られると考えています。

〔対象・研究方法〕 2009 年 8 月 1 日から 2021 年 8 月 31 日までの期間に、帝京大学医学部附属病院泌尿器科で、前立腺癌に対するロボット支援下前立腺全摘術(RARP)を施行した患者さんが対象です。血液検査・尿検査、手術治療の所見、感染症発症の有無などの経過について診療録(カルテ)から調査します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院を含めた 13 施設(藤田医科大学(主管施設)、兵庫医科大学、国際医療福祉大学病院、国際医療福祉大学成田病院、神戸大学、大津赤十字病院、岡山大学病院、広島大学病院、自治医科大学病院、島根大学病院、NTT 東日本札幌病院、獨協医科大学病院、帝京大学医学部附属病院)

〔個人情報の取り扱い〕 本研究は、過去の診療録調査だけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。氏名・生年月日・ID 番号などの個人情報はすべて個人を特定できないように加工されてから解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。また、ご協力いただける場合でも謝金等は発生いたしません。研究終了後は、情報は帝京大学臨床研究センター(Teikyo Academic Research Center; TARC)で 10 年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部泌尿器科学講座 主任教授 中川徹

情報責任者：帝京大学医学部泌尿器科学講座 講師 川合剛人

所属： 帝京大学医学部附属病院泌尿器科

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) [内線 33709]